



令和元年11月14日

各 位

上 場会社名 株式会社 高田工業所  
代 表 者 代表取締役社長 高田 寿一郎  
(コード番号 1966)  
問 合 せ 先 総務部長 副島 淳一  
(TEL. 093-632-2631)

(訂正・数値データ訂正)

「令和2年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正に関するお知らせ

当社が、令和元年11月6日に公表いたしました「令和2年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に一部誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

記

【訂正箇所】

- ・添付資料 2 頁
  1. 当四半期決算に関する定性的情報
    - (2)財政状態に関する説明
      - ②キャッシュ・フローの状況に関する分析
- ・添付資料 8 頁
  2. 四半期連結財務諸表及び主な注記
    - (3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

※訂正箇所には下線\_\_\_\_\_を付しております。

(訂正前)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(2) 財政状態に関する説明

②キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末の25億1千9百万円に比べ6億1千6百万円減少し、19億2百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、15億6千7百万円の支出（前年同四半期21億7千8百万円の支出）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益16億8百万円、未成工事支出金の減少額5億5百万円の収入と、売上債権の増加額28億4千5百万円、法人税等の支払額6億8千9百万円の支出によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、5億7百万円の支出（前年同四半期3億7千6百万円の支出）となりました。

これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出4億7千6百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、16億4千7百万円の収入（前年同四半期23億7千6百万円の収入）となりました。

これは主に、短期借入金の純増加額26億円による収入と、自己株式の取得による支出8億2千万円によるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	899,370	1,608,971
減価償却費	181,566	283,235
貸倒引当金の増減額（△は減少）	—	23,447
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△4,589	△11,269
完成工事補償引当金の増減額（△は減少）	△3,884	△11,902
工事損失引当金の増減額（△は減少）	△26,364	△147,183
(省略)	(省略)	(省略)
その他	△234,595	△338,317
小計	△1,857,117	△869,372
(省略)	(省略)	(省略)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,178,617	△1,567,531
投資活動によるキャッシュ・フロー		
(省略)	(省略)	(省略)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△376,763	△617,978
財務活動によるキャッシュ・フロー		
(省略)	(省略)	(省略)
非支配株主への配当金の支払額	△6,163	△14,019
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,376,122	1,647,283
(省略)	(省略)	(省略)

(訂正後)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(2) 財政状態に関する説明

② キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末の25億1千9百万円に比べ6億1千6百万円減少し、19億2百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、15億7千7百万円の支出（前年同四半期21億7千8百万円の支出）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益16億8百万円、未成工事支出金の減少額5億5百万円の収入と、売上債権の増加額28億4千5百万円、法人税等の支払額6億8千9百万円の支出によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、6億1千7百万円の支出（前年同四半期3億7千6百万円の支出）となりました。

これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出4億7千6百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、16億5千6百万円の収入（前年同四半期23億7千6百万円の収入）となりました。

これは主に、短期借入金の純増加額26億円による収入と、自己株式の取得による支出8億2千万円によるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	899,370	1,608,971
減価償却費	181,566	283,235
貸倒引当金の増減額（△は減少）	—	23,447
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△4,589	△11,269
完成工事補償引当金の増減額（△は減少）	△3,884	△11,902
工事損失引当金の増減額（△は減少）	△26,364	△147,183
その他の引当金の増減額（△は減少）	—	17,434
(省略)	(省略)	(省略)
その他	△234,595	△365,445
小計	△1,857,117	△879,066
(省略)	(省略)	(省略)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,178,617	△1,577,225
投資活動によるキャッシュ・フロー		
(省略)	(省略)	(省略)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△376,763	△617,978
財務活動によるキャッシュ・フロー		
(省略)	(省略)	(省略)
非支配株主への配当金の支払額	△6,163	△4,326
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,376,122	1,656,977
(省略)	(省略)	(省略)

以上